

日本政策投資銀行総裁（株式会社日本政策投資銀行社長に就任予定）室伏稔  
による訓辞（要約）

来週10月1日に当行は株式会社化する。今年の年頭挨拶で述べた、「民営化を成功させる」という決意は、今でも全く揺らいでいない。

新DBJ発足に当たり、「カスタマーファースト」「プロフェッショナル」「グローバル&ローカル」「スピード&チームワーク」の4つの行動基準を策定したが、その中で「カスタマーファースト」が特に重要。これは「ソリューションでお客様の期待に応える」ことを意味し、これができるからこそ、「金融力で未来をデザインします」を標榜することができる。

当行はこれから自律的に活動することが可能になり、内容的にもエリア的にも活動の場が広がっていく。そのため皆さんにはグローバルな視点をもって、世界をフィールドに大きくチャレンジしてもらいたい。

サブプライムローンに端を発した国際金融市場の混乱の中で、投資銀行ビジネスの限界もささやかれている。しかし私たちが目指すのは「投融資一体型の金融サービス」、すなわち、リアルな実業の世界に根ざし、お客様のバリューアップを支援するというビジネスモデルで、普遍的な価値を持つものである。これこそがDBJのカスタマーファーストを活かした金融力と言える。自信を持ってオンリーワンの金融機関を目指そう。

最後に、皆さんの努力のおかげで民営化の日を迎えることができることを、皆さんとご家族の応援の賜物と思い、感謝する。

Nothing is impossible!

新たなチャレンジに向け、スタートを切りましょう。

以上